EA776AA 取扱説明書

この度は、EA776AAをお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を熟読の上、大切に保管してください。

ご使用になる前に
本機には予めﾓﾆﾀｰ用のｱﾙｶﾘﾎﾞﾀﾝ電池が入っております。表示が薄くなったり、
見えにくくなりましたら、LR44のｱﾙｶﾘﾎﾞﾀﾝ電池を4個お買い求めの上、交換してください。
本機にはBEPS(低ﾊﾞｯﾃﾘｰによる測定ﾐｽを防ぐ)機能がありますので、ﾊﾞｯﾃﾘｰ残量が
少なくなると自動的に電源が切れるようになっております。

仕様

レンジ	0-14PH
精度	±0.3PH
検出単位	0.1PH
校正	手動で1点
ｻｲｽﾞ	175*41*23mm 78g

使用方法

① 黒い保護ｷｬｯﾌﾟを外します。
② 本体上部の電源ｽｲｯﾁをｽﾗｲﾄﾞさせて電源を入れます。
③ 本体を水平ﾚﾍﾞﾙまで試料に浸けます
④ 静かに攪拌し、表示が安定するまで待ちます。
⑤ 安定した後、数値を読み取ります。

ご注意

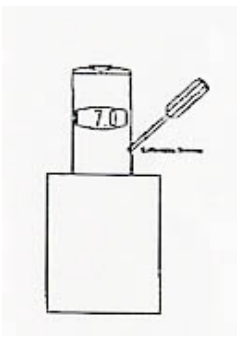
測定前に、必ず「校正」してください
継続して数種のｻﾝﾌﾟﾙを測定する際は、電極をよく洗い、次に測るｻﾝﾌﾟﾙで軽く流して
下さい。

校正

測定精度を高めるために、頻繁な校正をお勧めいたします。
また、以下のような際は必ず校正してください。
① 電極を交換したとき。
② 化学薬品を測定したとき。
③ 高い精度を求めるとき。
④少なくとも月に一度。

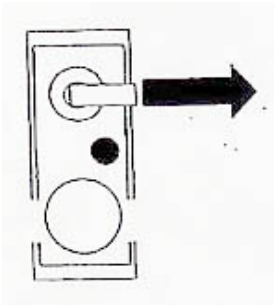
校正の仕方

①本体をph7、もしくはph6.8の標準液に浸けます。
② 表示部
数値が浸した標準液（「7.0」もしくは「6.8」）になるまで。図のようにﾄﾘﾏｰ(調節ﾈｼﾞ)
を付属のﾄﾞﾗｲﾊﾞｰで回します校正完了です。



液絡部のメンテナンス

正常な保管状態で校正もとれているのにもかかわらず、測定値が異常である場合、
液絡部の汚れが考えられます。
その際は、図のように液絡部をﾋﾟﾝｾｯﾄなどを使用して
すこし引き出してください。(約2ミリ程度)
本体内部より、新しい白いﾃｰﾌﾟが出てきます。



汚れた部分は、本体を痛めないよう注意して、切り取っていただいて結構です。
2ミリの引き出しで約20回分(4cm)あります。
＊引き出す際の加減にはご注意ください＊
引き抜いてしまった場合は、取り付けはできませんので、ご使用になれなくなってしまいます。

「液絡部」…電極内部液と被検液(試料)が接する部分。
液絡部(この機種の場合はﾅｲﾛﾝｸﾛｽ製のﾃｰﾌﾟ状になっています)から内部液がしみだし
試料と接触し、一定の電位を示します。液絡部とガラス電極との間の電位差を測ることで
PHを測定しています。

PH電極について

洗浄
PH校正や測定後は必ず洗浄してください。洗浄しませんと測定液などが電極表面に
皮膜を作り、測定に影響を与えます。通常、洗浄は純水や水道水などにて行います
が、汚れが落ちにくいものについては、中性洗剤を薄めたものにて洗浄してください。
また、中性洗剤を使用した場合には洗浄後、純水や水道水にて洗剤成分を良く落とし
てから、しばらく電極保管液かPH標準液に浸けてください。

白い結晶(塩化ｶﾘｳﾑの結晶)
電極の先端や保護ｷｬｯﾌﾟなどに白い結晶が付着している場合がありますが、これは
異常ではございません。水道水やぬるま湯にて簡単に落とすことができます。目や
皮膚についた場合は速やかに十分な水で洗い流してください。
異常を感じられる場合は医師に相談してください。

PH電極の点検
PH電極は消耗品です。寿命につきましては、測定する溶液の種類やPH値により異なります。
上記のような洗浄を行い、電極の乾燥も防いだ上で測定値が異常である場合、電極の
寿命が考えられます。

取扱い上の注意事項

この計測器は精密機器ですからつぎのようなことには十分ご注意ください。
1．強い振動や衝撃を与えないでください
2．長時間直射日光の当たるところに放置しないでください
3．ごみやほこり、腐食性ｶﾞｽの発生するようなところでのご使用や保管は避けてください。
4．高温、低温や多湿の場所での仕様や保管は避けてください
5．本体をｼﾝﾅｰやﾍﾞﾝｼﾞﾝなどで拭かないでください
6．感知部はｶﾞﾗｽ製ですから、破損しないよう取り扱いには十分ご注意ください。
7．電池を飲み込まないよう十分ご注意ください